

鳥取県・鳥取大学医学部病理専門研修プログラム

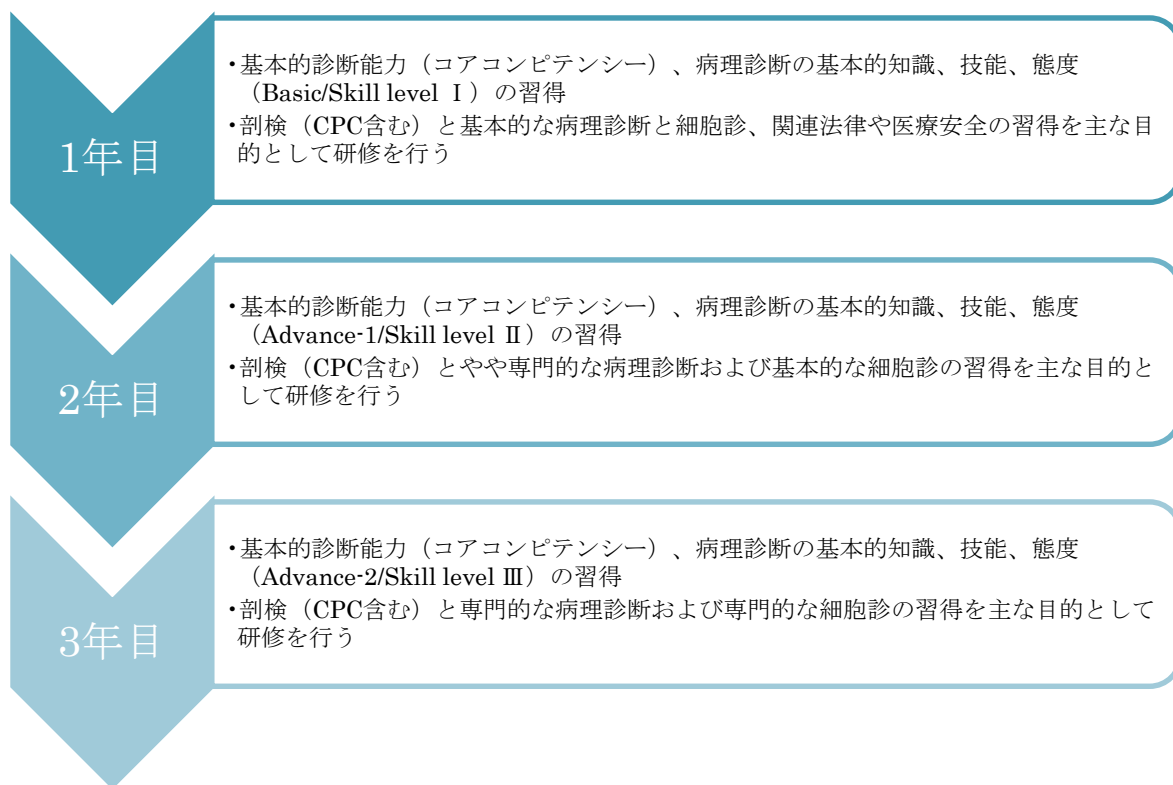
● 概要：

2年間の初期臨床研修を修了した後に、病理専門医取得に向けて3年間の研修を行います。

本プログラムは、病理領域の診断技能のみならず、他職種、特に臨床検査技師や他科医師との連携を重視し、同時に教育者や研究者、あるいは管理者など幅広い進路に対応できる経験と技能を積むことを目標とします。

● 年次毎の専門研修計画：

各年度の目標は下記の通りです。なお、詳細は専門医研修マニュアルを参照してください。



● 専門研修連携施設：

連携施設 1 群

鳥取県立中央病院
松江赤十字病院
防衛医科大学校病院

連携施設 2 群

鳥取赤十字病院
鳥取市立病院
鳥取県立厚生病院
米子医療センター

山陰労災病院

松江市立病院

連携施設 3 群

公立八鹿病院

● **研修スケジュール：**

コース例は下表のとおりです。下記例では、施設間ローテーションが1年間となっていますが、事情により1年間で複数の連携施設間で研修することも可能です。

コース	1年目	2年目	3年目
標準コース	基幹施設	連携施設 (1群もしくは2群)	基幹施設／その他の研修施設
1年目 連携施設 コース	連携施設 (1群)	基幹施設	連携施設 (1群もしくは2群) ／ その他の研修施設
2・3年目 連携施設 コース	基幹施設	連携施設 (1群もしくは2群)	連携施設 (1群もしくは2群) ／ その他の研修施設
大学院生 コース	鳥取大学医学部 病理学講座 (大学院) 週1日研修 (連携施設1・2群)	鳥取大学医学部 病理学講座 (大学院) 週1日研修 (連携施設1～3群)	基幹施設／その他の研修施設 週1日研修 (連携施設1～3群)

● **専門医受験資格取得要件 等：**

プログラムに記載された知識・技能・態度にかかわる目標の達成度が総括的に把握され、専門医受験資格がすべて満たされていることを確認し、修了判定を行います。最終的にはすべての事項について記載され、かつその評価が基準を満たしていることが必要となります。

● **本プログラムの特徴：**

- 鳥取県の単位医師数当たりの病理医数は全国最低の状況にあります。本プログラムは、このような状況を改善するためにも魅力的で、しかも各専攻医のニーズにあったテーラーメイドプログラムになるよう心がけています。
- 症例数は豊富かつ多彩で、剖検数も十分確保されています。指導医も各施設に揃っています。カンファランスの場も多くあり、病理医として成長していくための環境が整っています。
- 研修終了後1年間は基幹施設または連携施設（1群ないし2群）において引き続き診療に携わり、研修中に不足している内容を習得します。鳥取大学に在籍する場合には、研究や教育業務にも参加していただきます。
- 専門医資格取得後も引き続き基幹施設または連携施設（1群ないし2群）において診療を続け、サブスペシャリティ領域の確立や研究の発展、あるいは指導者としての経験を積んでいただきます。本人の希望によっては留学（国内外）や3群連携施設の専任病理医となることも可能です。